



● 7月7日午前7時半の日吉ダム（写真上）と生畠地区の斜面崩壊現場（写真下）

発行=日吉町森林組合 〒629-0341 京都府南丹市日吉町殿田尾崎8-1

Tel=0771-72-0017 Fax=0771-72-1375

E-mail=h-sinrin@fancy.ocn.ne.jp

<http://www.720017.or.jp/>

2018年7月発行



お詫びと訂正



森だより116（春）号において、平成29年度通常総代会にて承認いただきました。新役員の紹介をさせていただきましたが、四ツ谷地区選出の廣瀬健一理事と八木地区選出の松本豊理事のお名前が漏れておりました。

廣瀬理事及び松本理事並びに関係者の皆様に対し、大変失礼なことをしてしまい心よりお詫び申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。

今号にて、改めて新役員の紹介をさせていただきます。

【理事】

保野田・塩貝文明
志和賀・吉田繁治
西胡麻・仲村哲
東胡麻・宇野齊
畠郷・松尾邦夫
田原・香川和輝
田原・木下卓巳

【監事】

佐々江・村山好明
木住・湯浅俊治
上胡麻・塩貝洋一

殿田・阪田昌平
園部・湯浅莞爾
八木・松本 豊

※順不同敬称略



商工会加盟のお知らせ



森の道具屋にお越しのお客様から「商工会の商品券は使えないの?」というご質問を多くいただきました。残念ながらこれまで商品券を使っていただくことが出来ず、お断りしておりましたが、6月12日をもって南丹市商工会へ正式に加盟させていただき、商工会が発行する商品券が「森の道具屋」においても使用することが可能になりました。

後述する「夏の大整備会」でももちろん使えますので、皆様のご来店をお待ちしております。(出野)

夏の大整備会の御案内



7月21日（土）・22日（日）の2日間に渡り、森の道具屋「夏の大整備会」を開催いたします。

本格的に農業のハイシーズンに突入し、草刈機などの機械が毎日フル稼働していると思います。

今後ますます気温が上昇し、皆様のお身体も疲労が溜まつてくると思いますが、機械にも負担が溜まり調子が悪くなりやすい時期になります。この機会に是非お使いの機械のメンテナンスをお勧めいたします。

この2日間に限り、草刈機やチエーンソーなどの小型機械の点検・整備・修理が無料です（部品の交換が必要な場合は、部品代のみ別途頂戴いたします）。

また、今回の整備会は「運搬車祭り」も同時に開催いたします。電動・手動運搬車を多く展示いたしますので、直接ご覧いただければと思います。

右記以外にも、様々な商品を2日間限りの特別価格でご奉仕させていただきますので、お暑い中ではあります、「森の道具屋」まで足をお運びいただければ幸いです。

職員一同心より皆様のご来店をお待ちしております。
（小笠原）

『商品一例』

※電動三輪運搬車 ※コンテナ運搬車



※電動テーブルリフター
※手動テーブルリフター



町内の組合員様でしたらお気づきのこ
とかも知れませんが、園部方面へお車で
お出かけの際に、府道園部・平屋線の沿
線（殿田大向地内）におきまして、獣害
対策の一環でワイヤーメッシュの柵を設
置させていただいております。

（小笠原）



この府道沿いに設置し
てから、お客様からの
問い合わせが急増し、
大変ご好評いただいて
おります。

「ちょっと気になるな
あ」と思われる方がい
らっしゃいましたらお
気軽にお問い合わせください。ご希望の
方には御見積りさせていただきます。も
ちろん御見積りは無料です。

ちなみに、施工費は1メートル当たり
最大2,800円（資材費+施工費）で
す。また、前述しました7月21日（土）
・22日（日）に開催します「夏の大整
備会」の期間中にお申し込みいただきま
すと、施工費をさらにお安くさせていた
だきます。是非この機会をお見逃しなく。

獣害対策用ワイヤーメッシュ

町内の組合員様でしたらお気づきのこ
とかも知れませんが、園部方面へお車で
お出かけの際に、府道園部・平屋線の沿
線（殿田大向地内）におきまして、獣害
対策の一環でワイヤーメッシュの柵を設
置させていただいております。

電柵も既に設置しておりますので、お
時間がありましたらご覧いただければと
思います。詳細な設置場所につきまして
は、組合までお問い合わせいただければ
と思います。



ハチの駆除賜ります

毎年秋口になると、ニュースなどでス
ズメバチによる被害が報道されておりま
すが、実は、7月・8月頃からハチによ

電柵デモ地決定のお知らせ

昨年11月に開催した森の道具屋・お
客様感謝祭において電柵のデモ地を募集
しましたところ、沢山のご応募をいただ
きました。ありがとうございます。抽選の結果、
佐々江前田地内に決定しましたのでご報
告いたします。

る被害件数が急増しています。しかも、熊や毒蛇などによる被害よりも圧倒的に

その件数が多いのです。また、死亡件数も1984年をピークに減少傾向にあります。が、毎年20件を超える被害が発生しております。油断は出来ません。

ハチの被害に遭わないためには、色々な対策が必要ですが、一番は生活圏内に作られた巣をいち早く発見し、早急に巣ごと駆除をしてしまうことです。

ですが、「ただでさえ危険なハチなのに、駆除なんて到底無理でしょ。」「そもそもハチが巣をしている所に行くことが無理」という方がほとんどではないでしょうか。

そんな危険なハチの巣駆除ですが、私も森林組合にお任せください。皆様に代わって駆除をさせていただきます。もし皆様の生活圏でハチの巣を見つけられた時は、森林組合までご一報ください。ただし、ハチの巣が屋根裏に入っているなど、森林組合でも作業が出来ない箇所にハチの巣がある場合も考えられます。したがいまして、現地を必ず確認させていただいた上で、駆除の対応をさせていただきます。

(小笠原)

森林整備の進捗状況

前号（116春号）で、平成30年度の森林整備事業計画を説明いたしましたが、その進捗状況と今後の計画についてお知らせいたします。

6月末時点では、間伐面積45ha、作業道開設延長6,000m、木材搬出量5,400m³となっています。

完了した現場は、

田原地区・旅谷（倒木）・平山
四ツ谷地区・和田・長谷
生畠地区・ハリマ岳・尾岳
天若地区・東カヤ

です。

現在進捗中の現場は、

胡麻地区・石原
田原地区・小谷山・虫谷・貝尻谷・片
生畠地区・大藤谷
中世木地区・赤部谷
天若地区・角谷・峰尾

となっています。
また、現在調査中で今後施業に入つて行く予定の現場は、

胡麻地区・ミロク
畑郷地区・絵屋久保

田原地区・大山・中尾

四ツ谷地区・平の上・積谷（倒木）
佐々江地区・呑谷

生畠地区・力ヶ山・ゾンダ（倒木）
ツヅラ・千ノ谷（倒木）

木住地区・猪谷・大檸・ホウガ谷
西垣林業株式会社様が発行しておられる「神籬（ひもうぎ）」の2018年4月号に九州北部豪雨災害の特集（久保田哲也九州大学大学院農学研究院教授談）が載っていましたので、少し長くなりますがその内容を引用させていただき、豪雨被害と森林の関係性はどうだったのかを説明させていただきます。

- 経験したことのないような豪雨

2017年7月5日、朝から降り始めた雨は福岡県と大分県を中心に記録的な

九州北部豪雨被害と森林の関係



（小林）

豪雨となり、最大日雨量は800ミリを超えた。ピーク時の1時間雨量は140ミリを超えました。この豪雨による斜面崩壊は、福岡県内だけで約1,000カ所にのぼり、過去に例のない被害となりました。



山の中へ入ると、谷という谷が浸食され、近隣に住んでいる人の話によれば、一晩のうちに様子が一変したといいます。

驚くのはその規模の大きさで、崩壊した場所によつては、14mもの深さで崩壊していました。

●過去最大級の流木災害

流木の量は福岡県だけ

で約21万m³にのぼる

とされており、国土交

通省によれば「過去最

大級の流木災害」とい

うことです。



これまでの国内外のどの災害現場よりも流木の量が多く、また、それが平地に近い下流まで大量に到達していることも、過



去はない現象でした。それだけ大量の降雨があり、大規模な洪水が発生したということです。

●森林管理が原因なのか

この流木災害は大きな関心を集め、その原因についても様々な意見が述べられました。

一部報道では、「スギやヒノキなどの針葉樹は根が浅いから」「間伐などの森林整備が適切に行われていなかつたために、災害になつた」などの意見もありました。つまりは、林業による森づくりや、現在の森林管理の方法に流木発生の原因があるのではないかという考えです。実際、そういった事は事実なのでしょうか。

●根の張り方の問題ではない

これまでの研究によれば、「広葉樹」とひとくくりにしてスギやヒノキの根と比べると、根の密度が高く、結果的に強度も高くなる傾向にあるのは事実とのことです。

しかし、広葉樹の樹種によって違いが

あり、災害現場に多く自生をしているシラカシやアラカシなどは、同じ条件で比較すると根張りの強度は、スギやヒノキと変わらないか、むしろ弱いという事が分かっています。

そして、今回の災害の決定的な事実として、斜面崩壊の多くが地層の深い場所（深層崩壊）で発生していたということです。

皆様の中には、高さが20mもある木は根の深さもかなりあるものだと思っておられる方もいらっしゃるのではないかでしょうか。実際、木が根を張る深さはせいぜい2m程度と言われています。木は2mまでの深さで十分な水や養分が吸収できれば、幹を支えるために根を横に広げることがあつても、それ以上深く根を伸ばす必要がありません。

今回の崩壊は、それよりずっと深い位置で発生しているので、木がどれほどしつかりと根を張っていたとしても崩壊を防ぐことはできなかつたのです。

●間伐の遅れでもない

今回被害が発生した地域は、林業が盛んで間伐も適切に行われている森林がほとんどでした。間伐が適切に実施されている森林は林地に日光が入ることで、地

表面の下層植生が育ち、森林土壌は多孔質の保水しやすい状態を保ち、そのことが水源涵養や洪水軽減といった森林の「機能」を生み出しています。

間伐がされていない森林だと、林地が暗くなつて下層植生が育たないと、表土がむき出しの状態になり、雨が降ると雨粒が直接表面を叩くこととなり、その結果「雨滴浸食」が起こります。この雨滴浸食によつて飛び跳ねた土の粒子が、土壤の隙間を埋めて水を通しにくい層をつくってしまいます。このような状態の林地では、強い雨が降ると地表流が発生し、表土を削りながら流下します。それが徐々に大きな速い流れを生み出し、溝状の浸食を繰り返して拡大していくことになります。間伐の遅れが土砂災害に繋がるのは、こうした表土の浸食が進行した場合が多いです。

今回の災害は、深層部分が崩壊したことが原因ですし、災害発生地域の森林は手入れがなされていた森林が多いことから、間伐の遅れが原因で発生したということではないと判断できます。

ここまで「神籬（ひもろぎ）」の記事を引用しながら、災害と森林の関係性について説明してきました。7月4日から

7日にかけて大雨が降り続いたように、今後もいつ何処で豪雨が降り、土砂災害が発生するかは分かりません。ただ、言えるのは、豪雨というものは発生するという前提のもと、対策を講じていかなければならぬということです。

森林組合では、間伐が遅れている森林をなくし、下層植生が育つ森林の維持管理をしっかりと行い、少しでも被害を軽減できるよう努めてまいりたいと思います。（小林）



森林移動届けの提出について

森林だよりではお馴染みの内容となつておりますが、左記の事柄について該当される方がおられましたら、組合までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

新人の紹介

今年新しく採用した職員3名の紹介をさせていただきます。

一人目は、「和田克典」です。

昭和56年8月19日生（35歳）の現在独身です。当組合入組前も林業に從



●名義人が高齢などの理由で家族内で名義を変更した
●名義人が亡くなられたので相続をした
●売買・贈与などで山の面積が増えたり、減つたりした

●引っ越しをされ住所が変更になつた
●共有林などの代表者や会計責任者が変更になった

組合員の皆様との繋がりを、いつまでも大切にしていただきたいと思っておりますので、変更がありましたらご連絡くださいますようお願い申し上げます。

（出野）

事しており、10年以上の経験者で即戦力として期待しています。危険木を伐採する特殊伐採事業も行う、オールマイティなチエーンソーマンです。



二人目は、「堀田 暁」です。

平成4年1月29日生（26歳）、昨年6月からアルバイトとして事務所で働

いておりましたので、ご存知の方もいらっしゃると思います。この4月から森林プランナーとして正式に採用となりました。既に一人で森林の調査に行くなど、将来有望な人材として期待しております。皆様のお目に掛かる機会が多くなると思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



三人目は、「中村史乃」です。

平成11年10月22日生（18歳）、長野県出身でこの春高校を卒業をしたばかりです。事務所にお越しの方は、既にご存じかと思いますが、4月より総務課会計係として働いています。

会計の業務はもちろん初めてで、一から勉強しながらですが、仕事の飲み込みが早く将来が楽しみな人材と喜んでいま

す。事務所にお越しの際には是非お声掛けいただければと思います。

三人とも期待の新人ですので、皆様の暖かな御支援と御指導をいただければ幸いでございます。

どうぞよろしくお願ひいたします。
(出野)



(資料提供・北桑木材センター H30.7.9)

ス ギ 中目	4 m × 18 ~ 24 cm	¥ 9,500 ~ 12,000
" "	4 m × 24 ~ 30 cm	¥ 12,000 ~ 15,000
柱	3 m × 16 ~ 20 cm	¥ 8,000 ~ 13,000
" "	6 m × 16 ~ 20 cm	¥ 13,000 ~ 15,000
元木 良材	4 m × 24 cm 上	¥ 25,000 ~ 30,000
ヒノキ 柱	3 m × 16 ~ 20 cm	¥ 11,000 ~ 15,000
" "	6 m × 16 ~ 20 cm	¥ 15,000 ~ 18,000
中目	4 m × 18 ~ 24 cm	¥ 12,000 ~ 15,000
土台	4 m × 14 ~ 16 cm	¥ 9,000 ~ 12,000
元木 良材	4 m、6 m 共	¥ 50,000 ~ 75,000

※左記の金額は1
立法メートル当たりの
金額です。

7月5日・6日に九州北部豪雨のこと
を書きながら、「もしかするとこの大雨
による被害について書かないといけない
のでは」と考えていました。

4日から降り続く雨の影響で、7日午
前6時半過ぎには、南丹地域にも大雨特
別警報が発令されました。同日午後1
時過ぎ頃から雨は小康状態となり、日
吉町内では幸い人命に関わるような大き
な被害は発生しておりません。

今回の大雨は前線が九州全域、中国地
方、四国地方、近畿地方へとゆっくり移
動しながら大雨を降らせたため、福岡県、
佐賀県、長崎県、広島県、岡山県、鳥取
県、兵庫県、京都府と相次いで大雨特別
警報が発令されました。また、7日13
時前には岐阜県にも同警報が発令され、
8日前5時頃には高知県、愛媛県に同
警報が発令されました。ここまで特別警
報が相次いで、しかも同時期に発令され
たように、尋常じやない豪雨だったこと
がわかります。

表紙にもありますように日吉ダムの貯
水量も満杯に近い状態になつております
た。6日16時頃には、100年に一度

の大洪水でも開くことはない、一生開か
ないゲートと言っていた『クレストゲ
ート』が開かれ、ピーク時には毎秒1,
000トン近い放流が行われました。

9日朝のニュースによると、今回

の豪雨による死者は90人にのぼり、ま
だ70人を超える方の行方が分かってい
ないということです。

5年前の台風27号では、避難勧告の
対象者（約4万3千人）のうち、実際に
避難された方は1・42%しかおられな
いというデータがあります。

今回の災害時でも、情報がどんどん發
信され、それが携帯電話に次々に流れ込
んできましたが、それらを見た方々のう
ち一体どれだけの方が避難をされたので
しょうか。

情報が少ないと状況が判断出来ません
し、情報が多いと逆に混乱を招く可能性
があります。また、私もそうでしたが、
特別警報が出たわりに雨がそれほど降っ
ていなければ「なんや全然大丈夫やん」
と思って、山合いの道を普通に車で通勤
してしまいます。

情報の量に関わらず、自分で状況を判
断して自分の身は自分で守らないといけ
ないと改めて思いました。
(小林)